



2026年3月期 第3四半期決算補足説明資料

株式会社フルッタフルッタ（証券コード:2586）

2026年2月13日



Our Philosophy

自然と共に生きる

フルッタフルッタが目指すのは、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現です。アグロフォレストリーはそのソリューションの一つであり、私たちはその恵みであるアマゾンフルーツを革新的な商品にかえてお届けし、アグロフォレストリーの発展に貢献するとともに、お客様に本物の美と健康をご提供してまいります。

Our Purpose

自然資本主義

ブラジル・アマゾンに渡った日本人移民が創立したトメアス総合農業協同組合(CAMTA)と出会い、彼らが確立した栽培手法である「トメアス式アグロフォレストリー」(混農林法)に当社の長澤が共鳴したことが創業のきっかけです。

アグロフォレストリーの拡大を促し、荒廃地を緑に変えていきたい。森をつくる農業「アグロフォレストリー」の発展にビジネスの力で貢献し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現を目指します。



アグロフォレストリーは 『生物多様性』と『CO₂削減』を両立する ソリューション

「ネイチャーポジティブ」は、企業・経済活動によって生じる自然環境への負の影響を抑え「生物の多様性を維持する」という従来の発想から大きく踏み込んで、「生物多様性を含めた自然資本を回復させる」ことを目指す新たな概念であり、近年、企業経営において重要性を増しています。



CONTENTS

P05-10 | 01 第3四半期決算ハイライト

P11-16 | 02 主なTOPICS

P18-21 | 03 今後の見通し

P22-31 | 04 中長期的な取組みの進捗

P32-34 | 05 サステナビリティの取組み



FRUTA 01 **FRUTA**

第3四半期決算ハイライト

売上高は2,594百万円(前年同期比147.3%)と、**前年通期(売上高2,549百万円)を上回る結果**となりました。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2,594 百万円	147 百万円	137 百万円	116 百万円
前年 同期比 147.3 %	前年 同期比 103.0 %	前年 同期比 △8 百万円	前年 同期比 △2 百万円

– ポイント

- ① リテール事業、業務用事業、ダイレクトマーケティング事業のいずれの部門も極めて堅調な推移。
- ② 歴史的な円安の進行による仕入れコストの押上が利益を圧迫。コスト上昇分を吸収する構造改革を推進。
- ③ アサイー×ヨーグルトの組み合わせを促進した結果、日常の食習慣として定着が進む。

原材料・物流費の高騰を、高付加価値商品の比率向上とオペレーション効率化で跳ね返し、**売上総利益率は40.3%(前年36.8%)へ改善**しています。

	(百万円)	2025年3月期 第3Q		2026年3月期 第3Q		対前年同期比	
		金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高		1,761	100.0%	2,594	100.0%	+833	47.3%
売上総利益		649	36.8%	1,046	40.3%	+397	61.2%
販売費及び一般管理費		506	28.7%	899	34.6%	+393	77.7%
営業利益		142	8.1%	147	5.6%	+4	3.0%
経常利益		145	8.2%	137	5.3%	△8	△5.6%
中間純利益		118	6.7%	116	4.4%	△2	△2.2%

各チャネル4軸が有機的に連動することで、当社の独自性と市場の追い風を各層で結実させ、**全方位で死角のない力強い成長を加速させてまいります。**

	2025年3月期 第3Q実績 (百万円)	2026年3月期 第3Q実績	前年同期比 (増減額)	
売上高	1,761	2,594	147.3% (+833)	<ul style="list-style-type: none"> アサイー×ヨーグルトの組み合わせのようにクロスマーチャンダイジングによる買い合せ需要の取り込み。 第4四半期から次期に向けて、新商品の投入を準備開始。
リテール	730	1,187	162.6% (+457)	<ul style="list-style-type: none"> 「スポーツ×健康」「エンターテインメント×食」といった多様なビジネスシーンへの進出。 アグロフォレストリーのストーリー性を付加価値とし、「選ばれる理由」を明確化
業務用	780	1,096	140.6% (+316)	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタル(SNS/EC)」と「フィジカル(自販機)」の両面からアプローチするD2Cモデルを確立
DM	238	292	122.8% (+54)	
海外	12	16	137.9% (+4)	

主要4カテゴリはいずれも前年同期比で伸長いたしました。当社のアサイーが高品質・高濃度であることや、「責任ある調達(サステナブル調達)」に対応した付加価値型原料であることを武器としてさらに拡大を行ってまいります。



– ポイント

- 1 アサイー市場は依然として活況であり、トレンドを超えて日本の食文化として根付く流れを推測しております。
- 2 アグロフォレストリーのストーリー性を付加価値として安定供給体制の維持とブランド価値の向上により、日常生活での定番化及び定着化が表れております。
- 3 「デジタル(SNS/EC)」と「フィジカル(自販機)」の両面からアプローチし、トレンドに敏感な新規ユーザー層への露出を強化することも含めて、D2Cモデルを確立してまいります。

第12回新株予約権の全数行使完了と第14回新株予約権の権利行使も開始されたことで「現金及び預金」、「資本金」及び「資本準備金」が増加しております。

この結果、総資産が4,460百万円増加し、自己資本比率は86.6%と3.3pt増加いたしました。

(百万円)	2025年3月末	2025年12月末	増減額	主な理由
流動資産	3,404	7,863	+4,459	現金及び預金、アジア展開に備えた棚卸資産の増加
現金及び預金	1,886	4,328	+2,441	第12回、第14回新株予約権の権利行使による増加
固定資産	143	144	+1	
総資産	3,547	8,008	+4,460	
流動負債	588	1,065	+476	原料調達および商品製造のために発生した仕入債務の増加
固定負債	3	3	0	
純資産	2,955	6,939	+3,983	第12回、第14回新株予約権の権利行使による資本金及び資本準備金の増加
自己資本比率	83.2%	86.6%	+3.3pt	



02
主なTOPICS

自宅で健康的な食事やライフスタイルを取り入れる傾向が加速した。手軽に調理できるアサイーボウルなどがその代表例。このトレンドはアサイーの家庭内消費を日常的なものへと変容させている。



環境保護や社会貢献への意識が、特にZ世代を中心に強く反映された消費行動である。フルッタフルッタのアグロフォレストリーへのコミットメントは、この倫理的消費志向を持つ消費者層に深く共鳴し、ブランド選択の重要な要素となっている。

健康への意識が高まる一方で、食事の楽しさや満足度も重視される傾向にある。アサイーは、その豊富な栄養素と自然由来の特性から、「罪悪感なく」摂取可能な健康食品として、特に若年層や健康に配慮する消費者層から高い支持を得ている。

近年の健康食品に関する問題は、消費者の製品選択において、壊さず、加えず、そのままであることへの信頼度を一層高めている。フルッタフルッタの商品は「ナチュラル・新鮮・おいしい・本物」をモットーとしており、この特性から有利な立場と認識される。

忙しい朝でも「かけるだけ」「混ぜるだけ」で完成する圧倒的な手軽さをきっかけに、ヨーグルト売場等との連動(クロスマーチャンダイジング)により、「買い合わせ需要」を喚起し、客単価と販売点数の向上を狙います。

いつものヨーグルトに!!
#アサイーヨーグルトボウル



Day 5

朝食や軽食にぴったり!
ヨーグルトにかけて、フルーツをトッピング



これ1本で
#アサイーボウル

かけるだけ
アサイーボウル

凍らせて濃厚
アサイーシャーベット

いつものヨーグルトと
ヨーグルトアサイーボウル

簡単!美味しい!
アレンジレシピは
こちらから▶▶

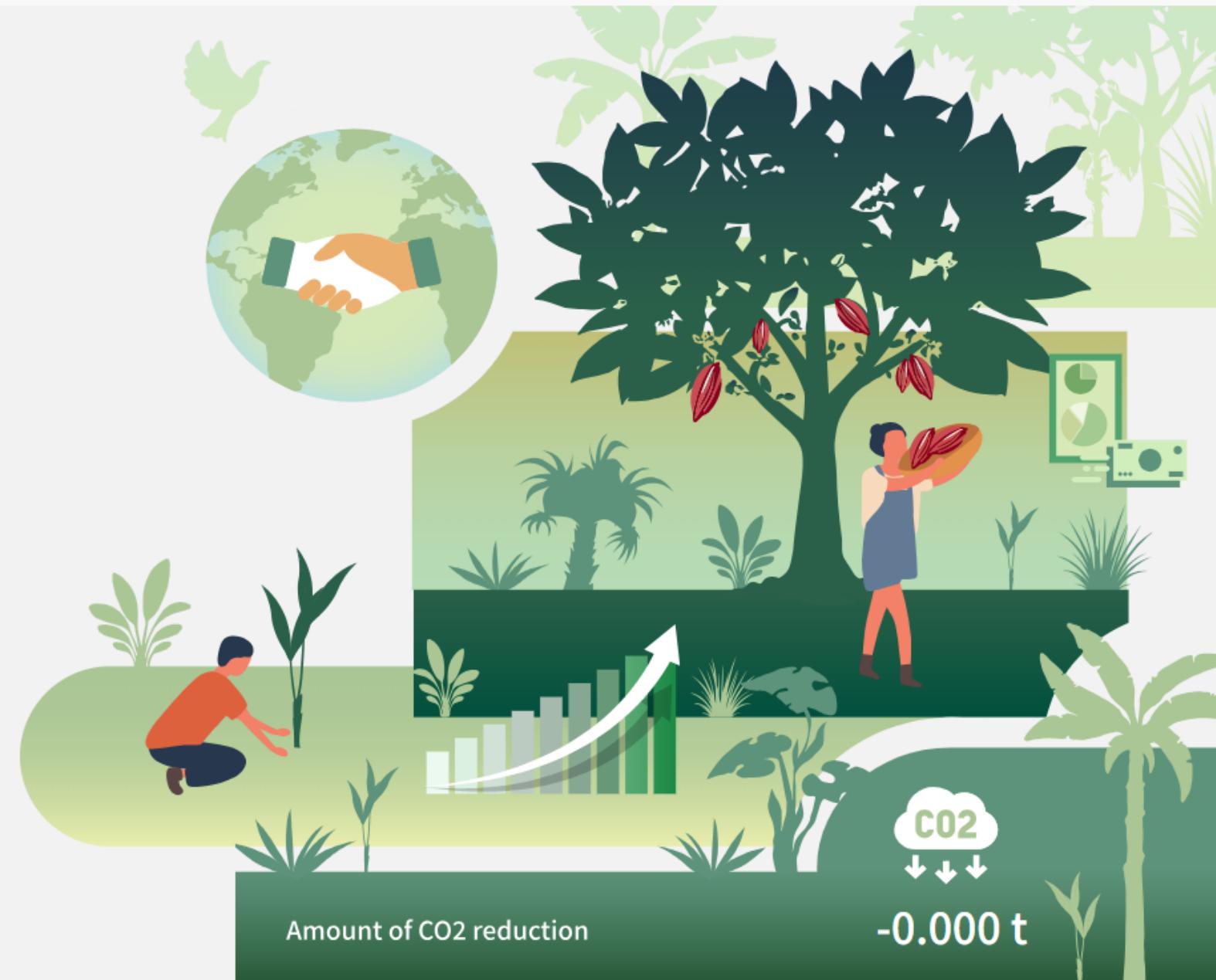


QR code

SCOPE 3 Neo

本物の サステナブルを ここから。

透明性あるデータに裏付けられた原料や生
産者と出会う場所。一つひとつの取引が、サ
ステナビリティを証明する行動に。



SCOPE 3 NEO の 4つの特徴

～アグロフォレストリーの価値を国際基準と科学で裏付け～

ネットマイナスの実現

アグロフォレストリーの強力な吸収力を活用。排出ゼロを超える「実質マイナス」の環境貢献を達成。

国際基準への準拠

ISO14067やGHGプロトコル等、世界標準の算定基準を採用。客観的数値により信頼性を担保。

科学的根拠と透明性

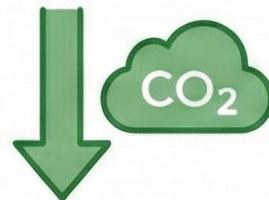
公的・学術データに基づく一次データを活用。検証可能で透明な情報基盤をメーカーへ提供。

安心のマッチング

生産者との直接的な信頼関係。サステナブル原料の安定調達とフェアトレードを同時に実現する。

※国際基準に基づいた透明なデータ提供により、企業の持続可能な成長を強力にバックアップします。

SCOPE 3 NEOの4つのビジネスメリット



CO2排出量の削減

原料のCO2吸収量を削減量として算定可能。



生産者とメーカーをマッチング

サステナブル原料のビジネス機会を創出。



サステナブル原原料の価値向上

グリーン調達市場での評価を確立。



PR効果、企業価値向上

環境貢献アピールでブランド差別化。

アグロフォレストリーから生まれる、持続可能な競争力

ブラジル駐在員事務所の開設 (2025年12月)

～調達基盤の更なる深化と、アグロフォレストリーの体験価値化～

安定調達体制の確立

- ・CAMTAとの連携を現場レベルで強化
- ・産地直結の強みを活かし、世界的な需要増の中でも高品質原料を安定確保

ストーリーの体験価値化

- ・COP30での視察実績を基盤に、視察・教育・体験を統合した新たなB2B・B2Cソリューションを構築

品質管理とガバナンス

- ・現地での品質チェック体制を強化
- ・トレーサビリティを徹底し、信頼あるサステナブル原料の供給を支える

現地の『トメアス市名誉市民』の信頼関係を基盤に、他社が模倣できない独自の競争優位性を確立します。

03

今後の見通し



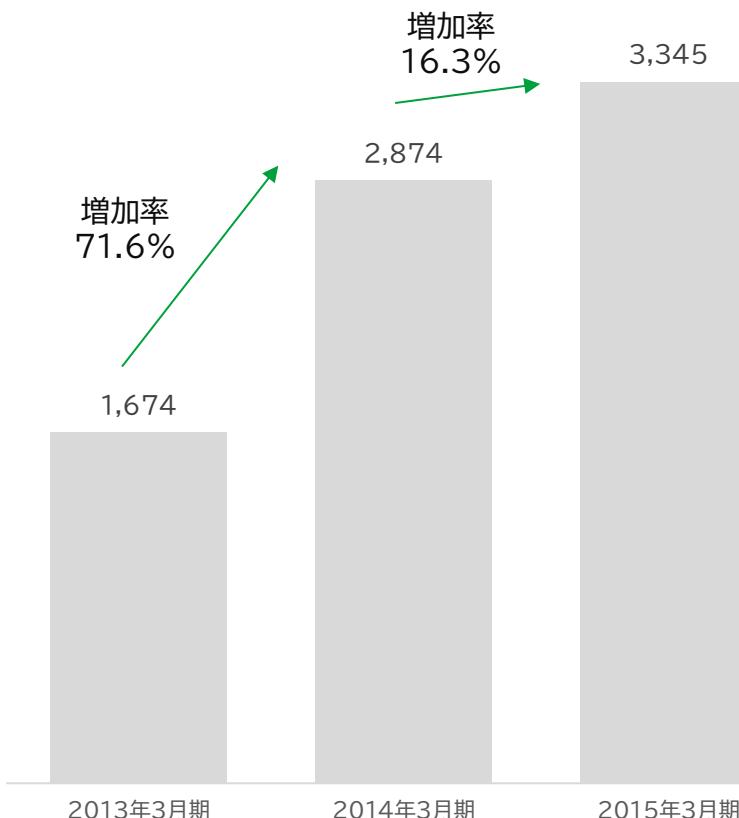
着実な成長に向けた準備期間として黒字を堅守。今後ダウンサイドに至るケースでも将来アップサイドを得られる、安定した収益につながるポートフォリオを構築してまいります。

	2026年3月期 第3Q実績		2026年3月期 予想		達成率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	2,594	100.0%	4,000	100.0%	64.8%
営業利益	147	5.6%	400	10.0%	36.7%
経常利益	137	5.3%	370	9.3%	37.0%
当期純利益	116	4.4%	300	7.5%	38.6%

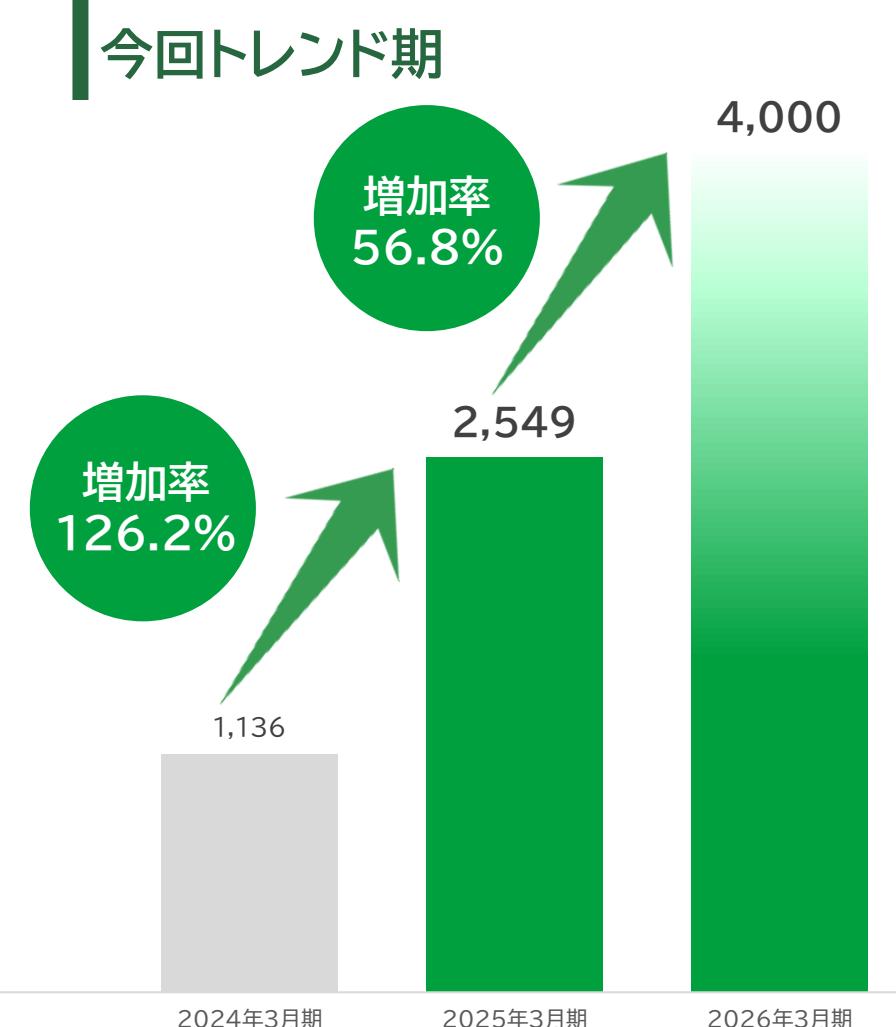
※2026年3月期第1Q実績および業績予想の当期純利益には、法人税・住民税及び事業税までを含み、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性が見込まれる部分について検討している段階であることから法人税等調整額は含みません。

2026年3月期は引き続くトレンドをさらに拡大させ、今後過去のトレンド期を超えるのびしろが見込まれます。第3四半期時点は売上高2,594百万円となり、**ピーク時(2015年3月期)と同形の進捗推移**となっております。

過去トレンド期



今回トレンド期



第4四半期から次期に向けては、「**タイプの向上**」「**ユーザー属性に応じた容量の最適化**」「**カテゴリーの多様化**」の3軸で新商品の投入を準備しております。

調理の手間を極限まで省き、より**日常的な喫食シーンを創出する新しい形状の製品**や、急増するヘビーユーザーのニーズに応える**容量バリエーションの拡充**、さらには**グローバルで市場が急拡大しているアマゾンフルーツ**のラインナップ追加を順次進めいく予定です。



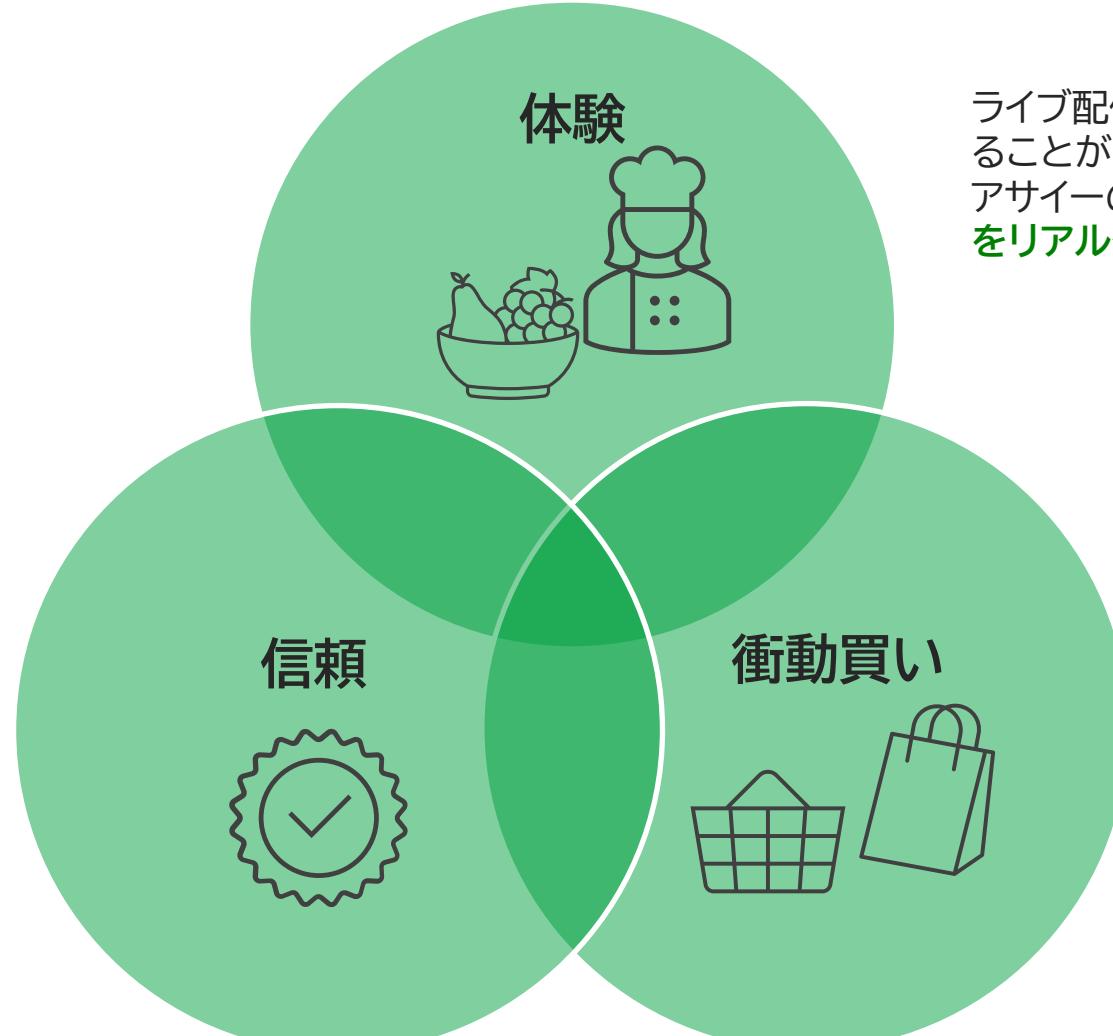
※第3四半期末時点での計画時期であり、実際の販売開始時期はズレこむ場合がございます。

04

中長期的な取組みの進捗

当社のブランド力と高付加価値商品を掛け合わせ、SNSを活用することでさらに感度高い層へアプローチし、“美容・健康”トレンドのシェア獲得を見込めます。国内外ライブコマースどちらも当期中の開始を目標として進行中です。

食品の**安全性と品質**は重要。当社の「アグロフォレストリー産のアサイーを日本に初めて輸入したパイオニア」という**ノウハウとブランド力**は、**高い信頼性**を訴求する強力な武器になります。



ライブ配信で調理、試食、アレンジの実演することができます。アサイーの「手軽さ」や「美味しそうな見た目」をリアルタイムで伝えるのに最適です。

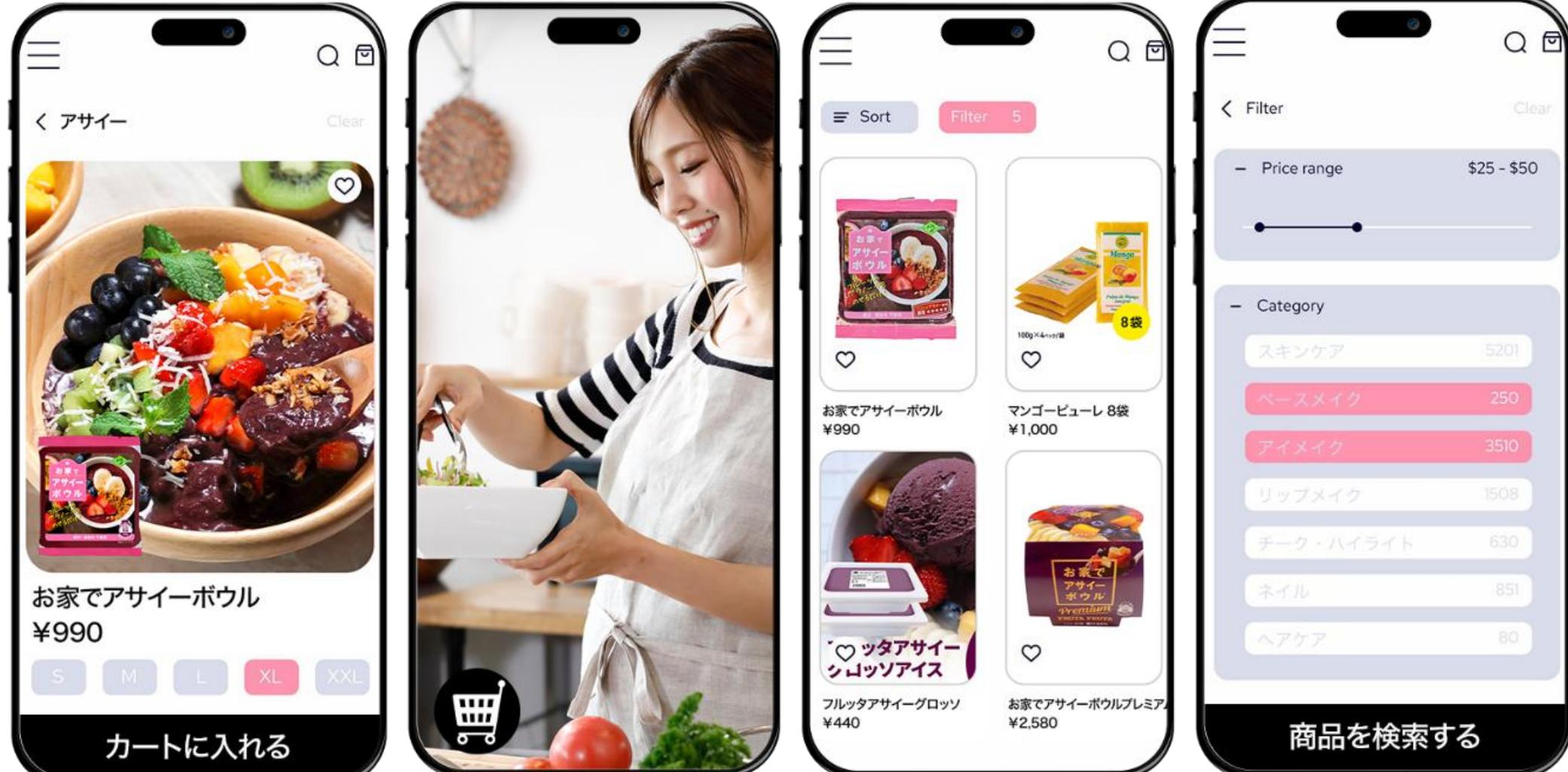
ショート動画でユーザーの潜在的なニーズを引き出し、ライブ配信で「今すぐ買う」衝動買いを誘発します。食品は、見た目のインパクトや、「今すぐ食べたい」という欲求にアプローチします。

※ライブコマースについての詳細は2025年6月19日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と越境EC協業施策開始のお知らせ～中国『TikTok(Douyin)ライブコマース』事業を共同推進へ～」及び 2025年7月30日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と『TikTok Shop』戦略開始のお知らせ～スーパーフード「アサイー」の国内販売をさらに加速～」をご参照ください。

SNSを活用してアサイーを国内・海外の両フィールドへ事業展開



国内では「Tiktok Shop」、海外では「Douyin(中国版TikTok)」を主戦場にSNS・ライブコマースを展開し、「定番商品の市場定着」「新SKU・カテゴリ展開」「サブスクリプションモデル構築」といった中長期の成長ドライバーを創出することを目指します。



※詳細は2025年6月19日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と越境EC協業施策開始のお知らせ～中国『TikTok(Douyin)ライブコマース』事業を共同推進へ～」及び
2025年7月30日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と「TikTok Shop」戦略開始のお知らせ～スーパーフード「アサイー」の国内販売をさらに加速～」をご参照ください。
Copyright© FRUTA FRUTA, Inc. All rights reserved.

「健康中国2030」を背景に高まる健康意識を捉え、Douyinライブコマースを「ブランド・ショールーム」として展開。BtoCでの認知確立を起点に、オンライン・オフライン・BtoBの3チャネル並行稼働で市場開拓を加速させます。



ONLINE
(LIVE Commerce)



OFFLINE
(Retail Store)



戦略的パートナーシップ

BtoB
(Supply)



現地有力代理店



業務用・原料供給

待望のアサイーの自動販売機が登場！設置先拡大に向け展開中！



「24時間好きなタイミングで」「好きな当社商品を購入できる」冷凍自動販売機についても、アサイーボウルを手軽に購入できる『スマート自販機』の全国展開を開始いたします。

単なる販売機ではなく、「無人店舗」として機能し、企業における福利厚生や商業施設などでの販売拠点の拡大を推進いたします。



日本経済新聞

小 中 大 記事利用について 印刷

フルッタフルッタ、都内にアサイー商品自販機 フランチャイズ検討も

2025/7/24 17:07 | 日本経済新聞 電子版



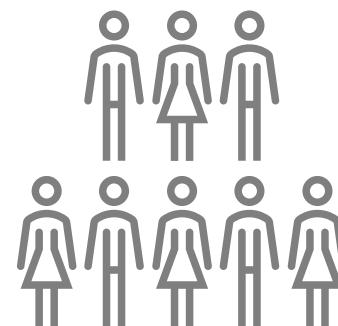
自販機について説明するフルッタフルッタの長沢社長（24日、東京都港区）

果物の輸入販売を手掛けるフルッタフルッタは24日、栄養価が高い南米産の果実「アサイー」を使った商品の自動販売機の運営を7月末に始めると発表した。まず東京都千代田区の自社オフィスの前に1台設置する。売れ行き次第で、フランチャイズで拡大することも検討する。

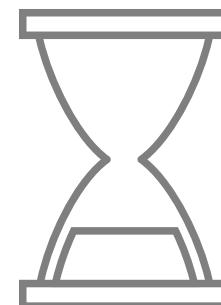
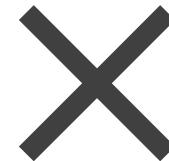
※日経電子版2025年7月24日「フルッタフルッタ、都内にアサイー商品自販機 フランチャイズ検討も」
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC242D40U5A720C2000000/>

※詳細は2025年7月24日公表の「お手軽に24時間いつでもアサイーボウルを！ フルッタフルッタの冷凍自動販売機が7月末より稼働決定！」及び
2025年7月30日公表の「アサイーボウルの無人店舗登場！ フルッタフルッタの冷凍自動販売機が7月30日より稼働開始」をご参照ください。

株主の皆様の日頃のご支援に感謝を形にするとともに、当社株式への投資魅力を高めること及び中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を促進することを目的として、株主優待制度(株主様専用ショッピングサイトでの割引価格での販売)を再開いたします。



100株以上の
株式保有数



中長期的な
継続保有期間



株主優待内容
の充実化

※継続保有期間は2025年9月末日を初回基準日として、以降継続保有期間の判定を開始いたします。

※詳細は2025年11月5日公表の「株主優待制度の詳細内容及び拡充に関するお知らせ」(<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2586/tdnet/2707607/00.pdf>)をご確認ください。

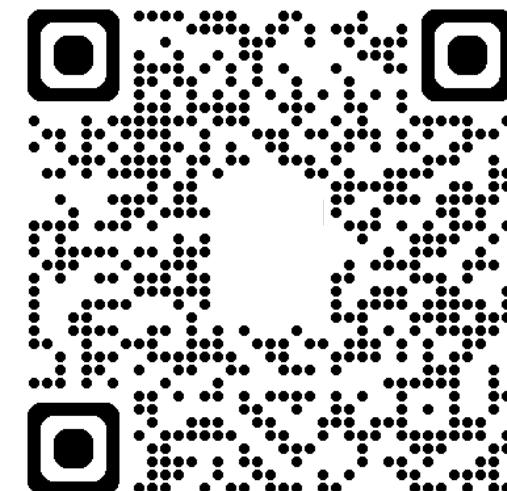
● 継続保有期間/保有株式数に応じた割引率

継続保有期間/保有株式数	100株以上、1,000株未満	1,000株以上
3年未満	15%	20%
3年以上	20%	25%

PC



スマートフォン



<https://shop.frutafurta.com/>

▲ 株主優待サイトはこちらからアクセス

※継続保有期間は2025年9月末日を初回基準日として、以降継続保有期間の判定を開始いたします。

※詳細は2025年11月5日公表の「株主優待制度の詳細内容及び拡充に関するお知らせ」(<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2586/tdnet/2707607/00.pdf>)をご確認ください。

株主還元拡充に向けたロードマップ



優待再開

- ・「株主優待ショッピングサイト」のオープン

配当の検討開始

- ・配当原資の確保
(利益利余金の積み上げ)
- ・財務体質の強化

配当の実施 & 優待制度の拡充

- ・安定的な配当の開始
- ・長期保有株主向け優待制度の導入検討

配当性向の向上

- ・業績運動型配当の導入検討
- ・持続的な企業価値向上による株主価値の最大化

持続的な成長と企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待にお応えすることを目指します。

※詳細は2025年12月26日公表の「株主還元に関する当社の考え方について」をご確認ください。

01 成長投資の進捗

さらなる業績拡大にむけた事業展開

日常的にアサイーを楽しむことを加速させる施策と、国内外におけるSNSを活用した販路での拡大施策を展開。

サステナブルマッチングプラットフォーム

2025年11月6日、ローンチを発表。
サプライヤー/バイヤーの招致拡大を目指す

02 調達済み金額と資金の充当状況

(単位:百万円)

資金使途	調達予定額	資金調達額	充当額	未充当額
アサイー原材料の調達 + アマゾンフルーツの調達	6,689	5,682	3,930	3,002
カカオの調達	400		343	
アサイーの普及活動及びプロモーション	150		16	
アマゾンフルーツのプロモーション、マーケティング活動	150		0	
人材確保（人件費、採用費等）	100		4	
プラットフォームの構築及び維持	250		52	
サステナブルマッチングプラットフォームのPR	100		0	
合計	7,839	5,682	1,667	3,002

(1)今後の具体的な計画やその進捗については、事業計画及び成長可能性に関する事項及び、適時開示にて開示してまいります。

03 各新株予約権行使の進捗状況 (1)

新株予約権	発行数（個）	行使数（個）	未行使数（個）	行使割合(%)
第11回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第12回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第13回新株予約権	182,400	0	182,400	—
第14回新株予約権	187,000	40,000	147,000	27.2
第15回新株予約権	187,000	187,000	0	100.0
合計	921,200	591,800	329,400	64.2

第11回新株予約権は、2024年9月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2024年9月2日公表の「第三者割当による第11回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第12回新株予約権は、2025年10月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年11月5日公表の「第三者割当による第12回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第14回新株予約権は、隨時行使型新株予約権であり、行使期間を2023年12月18日(当日を含む。)から2030年12月17日(当日を含む。)までとしています。長澤氏に割り当てた本新株予約権187,000 個のうち、本新株予約権の行使に必要な資金調達とその譲渡対価を行使等に充てる目的で、40,000個についてEVOFUNDに対して譲渡しております。なお、EVOFUNDは譲渡を受けた40,000個すべてを行使完了されました。譲渡についての詳細は2025年11月14日公表の「第14回新株予約権(行使価額修正条項付)の一部譲渡の承認及び売出しに関するお知らせ」及び2025年12月1日公表の「(開示事項の経過)第14回新株予約権(行使価額修正条項付)の売出しの条件決定に関するお知らせ」をご参照ください。

第15回新株予約権は、本新株予約権は2025年2月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年2月3日公表の「第三者割当による第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

各新株予約権の詳細につきましては、2023年11月13日公表の「第11回乃至第13回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行、第14回及び第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」、2025年6月13日公表の「資金使途の変更に関するお知らせ」をご参照ください。



05

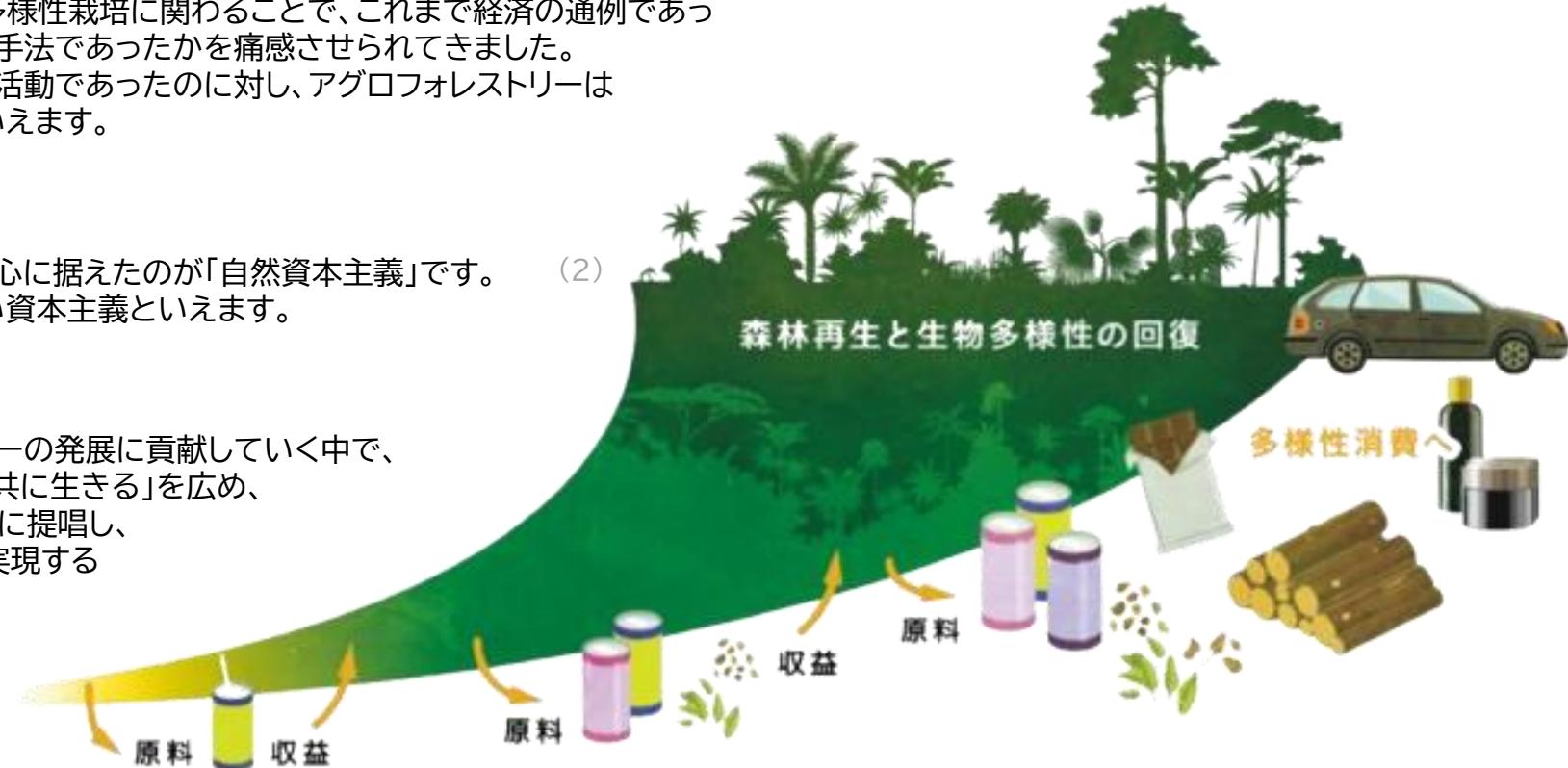
サステナビリティの取組み

アグロフォレストリー原料の使用を通して、累計450,000トンのCO2削減を目指します。 (1)

フルッタフルッタでは、アグロフォレストリーの多様性栽培に関わることで、これまで経済の通例であったモノカルチャー栽培が如何に自然と逆行する手法であったかを痛感させられてきました。そして、従来の農業が自然資本を搾取する経済活動であったのに対し、アグロフォレストリーは自然資本を保全し回復させる未来型の農法といえます。

従来の資本主義に対し、限りある自然資本を中心に据えたのが「自然資本主義」です。 (2)
その生産性の改善と回復に重点を置いた新しい資本主義といえます。

私たちは、事業活動を通してアグロフォレストリーの発展に貢献していく中で、アグロフォレストリーの概念ともいえる「自然と共に生きる」を広め、この新しい経済メカニズムを日本国内及び世界に提唱し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会を実現することを目指し、上記目標設定と致しました。



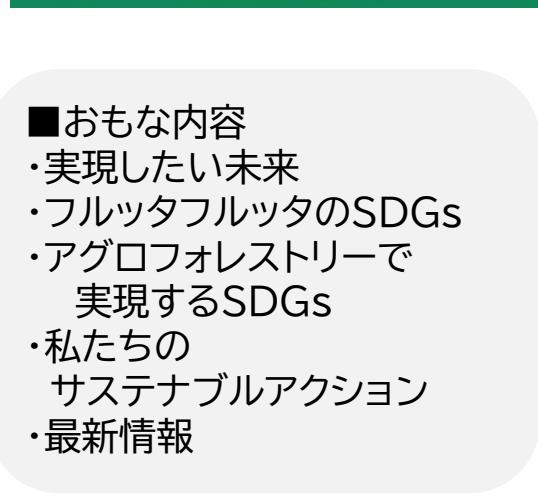
(1)目標値は、中長期計画で見通している2031年3月期までの売上高(取引高)から算出した
アグロフォレストリー原料の調達量に基づき、そこから得られるCO₂削減量を創業時から累計して算出しています。

なお、2025年3月末時点では65,000tを削減している見込みです。

(2)自然資本:植物、動物、土壤、鉱物、水、大気など、自然によって形成される資源のこと

当社のサステナブルに対する活動・情報をまとめたサステナブルページを公開しております。

当社が目指す未来をはじめ、アグロフォレストリーが貢献するSDGsや、企業活動とサステナブルの関係をまとめています。



※サステナブルページURL : <https://www.frutafruta.com/sustainable/>

本資料におけるご説明に含まれる将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や国内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社により何らかの行動を勧誘するものではありません。日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。投資のご検討にあたっては、投資家ご自身の判断で行うようにお願いいたします。

【お問合せ先】

株式会社フルッタフルッタ IR室

公式お問い合わせフォーム

https://www.frutafruta.com/ir_info/ircontact/

